

開発途上国の行政官と政府関係機関に所属する橋梁技術者が 長崎に集結し、橋梁のアセットマネジメントについて学びます！

独立行政法人国際協力機構（JICA）は、長崎大学と（株）国際開発センターの協力を得て、開発途上国の行政官と橋梁技術者向けに、橋梁アセットマネジメント能力の向上を目的とした研修を長崎で実施します。橋梁の維持管理は道路に比べて面積あたりの費用が高く、高度な点検や診断、補修技術が求められます。しかしながら開発途上国においては財政状況が良好とは言えず、また技術力も高いとは言えないため、既存橋梁を適切に維持管理することが大きな課題となっています。参加者たちは橋梁維持管理の進んだ長崎^{*1}で、維持管理の技術面のみならず、橋梁データの管理・財務面の計画策定を含むカリキュラムで、日本で実施されているアセットマネジメントや橋梁維持管理体制、橋梁点検・診断を実践的な講義や視察・演習を通じて学びます。

本研修の現場を取材いただける場合は、取材対象日の前営業日12:00までに以下の問い合わせ先までご連絡ください。

*1: 長い海外線と 971 の離島を持つ長崎県は 2,124 橋を管理しているが、そのうち 50 年以上経過した橋は、39%の 702 橋である(2024 年現在: 架設年次不明の 338 橋を除く)。塩害、強い季節風や台風の影響を受ける長崎県は、橋が次々に老朽化していく危機感から、長崎大学や民間企業等と連携した維持管理の手法を構築した。橋が壊れたら補修をする「事後保全」から、点検作業をマニュアル化し、損傷に早く気づいて事故を予防し、寿命を延ばす「予防保全」へと維持管理のコンセプトの転換を図り、定着させることに取り組んでいる。

<研修概要>

■研修コース名 : 課題別研修「橋梁アセットマネジメント」

■全体研修期間 : 2025年2月19日～2025年3月22日

(内、長崎滞在期間: 2025年2月26日～2025年3月19日)

■研修参加者 : 11 名 (出身国(予定): バングラデシュ、カンボジア、コンゴ民主共和国、フィジー、ラオス、ニカラグア、フィリピン、東チモール、トーゴ、ウガンダ、ザンビア)

<取材対象日程>

2 月 28 日(金) 13:00～16:15

場所: 長崎大学文教キャンパス構内

内容: コンクリート構造物点検演習(屋外)/鋼構造物点検演習(実習室)

3 月 3 日(月) 13:00～16:30

場所: ① 13:00～14:20 鏡橋(長崎市三ツ山町 バス停川平六枚板入口付近)

② 15:30～16:30 仙舞橋(長崎市式見町 長崎市役所地域センター付近)

内容: ① 橋梁点検実習(コンクリート橋) ② 橋梁点検実習(鋼橋)

3 月 5 日(水) 11:00~12:00/13:00~16:00

3 月 6 日(木) 9:30~12:00/13:00~16:00

場所:長崎大学文教キャンパス 工学部本館(予定)

内容:橋梁アセットマネジメントにおけるデータの活用

3 月 7 日(金) 14:00~15:00

場所:樺島大橋(長崎市脇岬町)

内容:樺島大橋の補修事例に関する視察

3 月 10 日(月) 13:30~15:30

3 月 11 日(火) 9:30~12:00

場所:長崎大学文教キャンパス 工学部本館(予定)

内容:健全度評価(3 月 10 日)ならびにその結果を用いた計画立案(3 月 11 日)

※ 研修日程詳細、研修員リストは、取材時までにご案内いたします。研修内容やスペースにより、時間や取材可能人数等に制限が出る場合があります。

■ 参考(先行案件:「橋梁維持管理」研修 実施時写真)



【本件に関する問い合わせ先】

JICA 九州 研修業務課 (担当 加藤)

TEL 093-671-8346 FAX 093-671-0979

E-Mail Kato.Mieko@jica.go.jp (@は半角に置き換えて下さい)